



一般
社団法人 電池工業会
BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

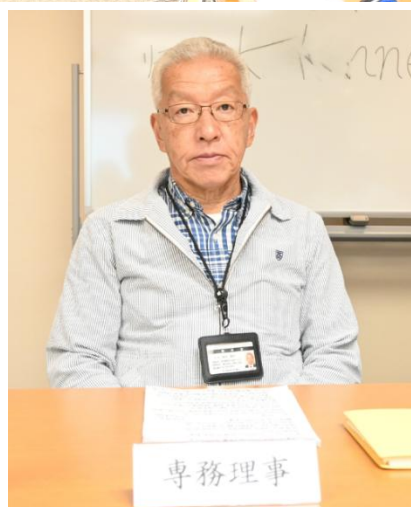
2026年10月号

120回 二次電池第2部会を開催

2026年9月15日（火）、松村部会長（株式会社GSユアサ）を議長に 第120回二次電池第2部会を機械振興会館で開催した。開催に際して、「BAJ 競争法コンプライアンス・ルール」を遵守することを確認したのち、部会長ならびに、専務理事より挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。



松村部会長



清水専務理事

1. 部会長挨拶

中国からの材料輸出規制やホルムズ海峡封鎖の影響で材料調達に苦勞されていると思いますが、脱中国依存ということもあり、候補先の一つのハンガリーでは、政権交代を背景とした環境・安全に対する課題があり、材料メーカーを発端とする影響が電池メーカーのサプライチェーンに波及しているようです。その結果、一部企業では事業継続が難しくなるなどの余波が見られ、材料調達にも影響が出ています。こうした状況から、企業活動においては地域住民や地域社会との関係性が重要であると感じております。

2. 専務理事挨拶

9月4日に北海道で正賛合同会議を開催しました。出席者は正会員・賛助会員を合わせて148名で、多くの皆様にご出席いただき、積極的な交流がなされ、大変有意義な会議となりました。

モバイルバッテリーについてですが、発火・火災事故がネットニュースなどで数多く取り上げられています。これを受けて、経済産業省製品安全課は現行の丸形PSEマークから菱形PSEマークへ変更することになりました。BAJは経済産業省のリチウムイオン電池対策連絡会に参画しており、モバイルバッテリー火災の原因究明が十分ではないことを継続的に指摘してきました。

結果として、第三者認証制度が導入され、事故件数が減少し、鉄道運行などへの影響がなくなることを期待しています。

3. 各委員会報告

◆技術委員会

1) 各分科会報告

<リチウム二次分科会>

- ・IEC 62133-2(ポータブルリチウム二次安全) CDV の審議を実施し、国際会議対応方針を整理
- ・日本規格協会から、JIS C 62133-2 の特殊な構造の組電池の解釈とPSEの過充電保護についての問い合わせがあり、分科会で協議して回答
- ・JIS C 9335-2-120(加熱式たばこデバイスの個別要求事項)改正に係る原案作成委員会へ参画決定

- ・IEC 61960-3 AMD1(ポータブルリチウム二次性能・QRコード表示対応) FDIS を審議し、日本は賛成で決定。

<LIB 安全性技術 WG>

- ・IEC 62660-3 の Alt. ISC 試験(FISC 代替試験)で、ケース除去径 3~10mm、釘先端半径 50μm 未満、電圧低下率 2.5%以上のパラメータが決定された
- ・IEC 62660-3 の CDV が JARI 電池セル SWG で承認
- ・2026 年度試験計画は経産省と JARI で調整中

<据置 LIB 分科会>

- ・IEC 63056-1(蓄電池システム LIB 安全) CDV に対するコメント作成
- ・IEC 62620 ED2(産業用 LIB 性能) CDV の各国コメントに対する意見を集約
- ・ポータブル電源 JIS 原案作成委員会に参加し、安全試験要求への提案を実施
- ・国内 ESS の火災事案を受け、JET から JIS C 8715-2 類焼試験を必須とすべきという提案に対し、火災・爆発に対する FTA を作成し、経産省に説明を実施
- ・IEC 62619(産業用 LIB 安全)の SMART 規格検証プロセス施行に関し Q 文書に賛成、エキスパート 3 名登録を決定

<非駆動用車載 LIB 分科会>

- ・JASO TP26004:2026 の正式公開を確認
- ・IEC 63711-1(補機用 12V SIB 一般要求・試験)の開発スケジュールを共有
- <ニカド・ニッケル水素分科会>
- ・IEC 61951-1/-2(ポータブル機器用 Ni-Cd 性能/Ni-MH 性能) ED5 の FDIS 移行決定
- ・上記に対応する JIS C 8705/C 8708 の改正提案スケジュールを審議、2027 年 5 月応募予定
- <産業用ニッケル水素分科会>
- ・IEC 63115-1/-2(産業用 Ni-MH 性能/安全) FDIS 移行を満足、9 月 WG で FDIS 審議
- ・IEC 62675 ED2(密閉型 Ni-MH 角形単電池)改訂対応を継続、IEC 63115 と

の干渉を確認

＜ニッケル亜鉛分科会＞

- ・産業用 Ni-MH 規格をベースに Ni-Zn 性能・安全規格のドラフト作成を継続中、修正内容について合意。

また、経産省へ活動状況と規格化計画を進捗報告

＜蓄電システム WG＞

- ・国交省「建築設備計画基準及び資料」「建築設備設計基準及び資料」令和 9 年版、「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和 7 年版への意見提出、ヒアリング対応
- ・国交省「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」令和 7 年版改定作業開始にあたり意見提出、ヒアリング調整中
- ・国交省「建築保全業務共通仕様書 令和 5 年版」改定作業開始にあたり意見提出
- ・日本電機工業会「UPS 設置に伴う法規制」パンフレットを確認し、コメントを提出

＜リユース規格分科会＞

- ・BAJ ホームページのリユース・リパーパス Q&A 改訂版を公開し、フォローアップを継続
- ・IEC 63330-1(リパーパス製品規格)/-2 DTR(リパーパス安全性および性能評価方法)の対応共有
- ・TC120 で審議中の IEC 62933(蓄電システム)関連規格との Harmonization 活動を継続

＜CFP 規格分科会＞

- ・IEC 63369-2(実際の計算方法)/-3(データ集)の PL 募集について、-1(産業用 LIB CFP 計算規則)改訂を優先し、-2/-3 の内容を必要に応じて-1 へ統合する条件であれば日本が PL を担うと回答
- ・経済産業省委託事業である JRC レポートに基づく CFP 算定ケーススタディへの協力を推進

2) 技術委員会対応の活動報告

＜ISO/TC333 国内審議＞

- ・リチウム製品の CFP 算定ガイダンスおよび炭酸リチウム分析方法規格の国内意見募集を実施中、炭酸リチウム、リチウム塩、リチウム複合酸化物の分析方法規格案につ

いて審議、意見なし

- ・レアアース・リチウムのバリューチェーンにおけるサステナビリティガイダンスについて、下流メーカーへの要求事項および文書の位置付け明確化に関するコメントを提出

＜TC108 委員会＞

- ・2026 年 4 月開催の TC108 HBSDT 国際会議の内容共有

◆国際電池規格委員会

- ・IEC 規格の進捗状況は 3 か月前からあまり変化はなく、現在、開発・改正を手掛けている規格が 2026 年末から 2027 年初めにかけて次々と国際規格として発行される予定
- ・SC21A の組織や制度については、CAG(Chair Advisory Group)が設置され、横断的なスコープや重要事項の決議を行う
- ・IEC 規格の策定を AI を活用して処理や検索の効率を上げてスマート化する試行が開始されていて、SC21A の中では IEC 62133-2 と IEC 62619 が対象となっている
- ・11 月にハンブルグで開催される SC21A Plenary/WG 会議に 10 名のエキスパートが現地参加予定

◆国際電池輸送委員会

1) 国連危険物輸送専門家小委員会

- ・6 月 30 日から 7 月 8 日に開催され、リチウム電池に係る正式提案(WD)17 件、非公式文書(INF)29 件が議論された。トピックスとしては、危険性にもとづく区分システム構築の区分統合、梱包指示、表示にさまざまな意見が出ており、採決は来年からの 2 年サイクルで実施される模様。また、試験・修理の作業部会で議論されている提案が複数あるが、次回会議で継続審議

2) SAE G-27 会議

- ・リチウム電池を安全に航空輸送するための新包装基準の策定を目的とした会議であり、円筒形リチウムイオン電池を対象としたドラフト版基準書・補足書は完成済みで、適用範囲を拡大した基準書・補足書の投票が実施された。BAJ は投票権を 3 票持

っており、一次電池の記載が不十分であることから反対 1 票を投じた。結果は賛成多数で、投票時のコメントを議論して年内に拡大版の完成を目指す。

3) 小型全固体 LIB 輸送 WG

- ・全固体 LIB の輸送規制緩和を早期に達成するため、危険性にもとづく区分システム構築の検討から独立した活動を行い正式提案を検討してきたが、混乱を生じるリスクが懸念され、正式提案は見送り、危険性にもとづく区分システム構築に盛り込む方針に変更した。

◆普及促進委員会

1) 普及促進委員会

- ・今年度テーマは、①日本版定置用補助金制度の検討②脱特定国依存に対する支援③ニッケル亜鉛電池の産業化推進。②について、8 月 19 日に中国黒鉛輸出規制に関して、経済産業省電池産業課に報告、協議を行った。具体的な課題は各社から経済産業省に情報提供を行い、業界と課題認識を共有したうえで、対応策を検討することとなった。

2) 定置用 LIB 普及強化 WG

- ・昨年度はフレッシュな LFP 系セルの安全性検証を実施したが、今年度は使用中（劣化後）のセルも評価する。類焼試験、加熱試験、低温サイクル試験など試験ごとに担当を決め、NITE 他と連携して推進する。
- ・NITE「公共調達・重要インフラ向け蓄電池システムの安全ガイドライン」の改定を年度内に計画しており、安全な蓄電池が優位となるような安全基準の意見出しを行う

3) 法規 WG

- ・消防庁危険物保安室主催の「令和 8 年度 GX 新技術等に係る危険物規制の検討会」にオブザーバー参加
- ・AI データセンターに設置されるバックアップ電源装置(BBU)の危険物容量に係る規制緩和について、UL9540A の各試験区分の防火安全性を調査し、消防危第 200 号通知における耐火性収納箱等の防火性能との比較・検討を行う
- ・別途消防庁と打合せを実施し、今回の検

討がデータセンターであることから、BBU だけでなく UPS も対象にすること、また UL9540A だけでなく JIS/IEC 規格も検討対象に加えていただくよう説明を実施

◆PL 委員会

- ・BAJ ホームページの「**「非純正バッテリーパック」について**”、**“模倣品電池パックに注意”**」の記載内容を見直す予定
- ・事故の発生状況はモバイルバッテリー、ポータブル電源が増加傾向、NITE の事故原因分析情報を検証すると焼損で原因が特定できないものが多いが、充電中の事故が大半で、使用環境、使用履歴、落下などの情報を取るための提案を考えたい
- ・事故低減へ向けた活動として、リチウムイオン電池総合対策パッケージを踏まえ、委員会での提案を協議して、広報総合委員会に相談して啓発推進予定

◆再資源化委員会

1) 回収リサイクルに関する動向調査

- ・環境省のスクラップヤード規制に係る検討の中で、有価売却の許可制が協議されていて、不適正な処理に網がかけられるかなど影響が生じるところは経産省や環境省に意見を提出する予定

2) 再資源化の政府・業界対応

- ・欧州電池規則の再生材含有率計算について、BASC と連携してパブコメを提出する予定

3) 小型充電式電池の識別表示ガイドライン

- ・資源有効利用促進法の改正に伴う表示ガイドライン全般の見直しを進めている

◆広報総合委員会

1) デジタル広告配信

- ・LIB 発火防止については 8 月 1 日から 3 月 31 日まで配信、デジタル広告はターゲティングを細かく設定できるため、多くのインプレッション(表示回数)とクリックが獲得でき、8 月 1 日から 19 日まででインプレッション 674 万回、クリック数 2.8 万回で投資効率は非常に良い
- ・子供向けの News Picks という冊子にリチウムイオン電池を正しく使って廃棄するという内容の掲載を検討中

2) イベント活動

- ・7月29、30日、経産省こどもデーでエネルギー体験教室を実施、また、手作り乾電池教室は8月までに11件実施

◆国際環境規制総合委員会

1) 地域別環境情報

- ・欧州連合はELV規則を公布、電池規則の附属書I(物質制限)改正が盛り込まれ、鉛、カドミウム、六価クロムの制限要求が反映された
- ・米ミネソタ州PFAS含有製品規制法で報告対象を2023年7月1日以降に製造された製品に限定
- ・米加州は電池内蔵製品制度の緊急規則に関する技術的修正案を提示
- ・中国工業情報化部、中国RoHSの第2次基準到達管理目録及び適用除外リストを発表、モバイルバッテリーなど23種類の製品が新たに追加された
- ・台湾環境部は水俣条約の改正に基づき乾電池規制公告を改正、ボタン電池の水銀含有制限値が1ppm以下になり、2026年7月1日以降、製造、輸入が禁止。ま

た、対象製品にボタン型空気垂鉛電池が追加された

- ・チリ環境省は使用済電池及び廃電気電子機器の収集・リサイクル目標と義務の政令を公布、優先対象製品である電池及び電気電子機器は、その製造者・輸入者に対し、収集・リサイクル目標の達成を義務付ける

2) 2026年度活動計画

- ・世界の電池環境規制の状況第15版を作成予定。2027年3月発行を目指す

4. JBRC 報告

- 1) 会員状況
- 2) 小型充電式電池の回収量と再資源化
- 3) 具体的施策
- 4) 行政、自治体、関連業界等の動向

5. 事務局報告

- ・次回、二次電池第2部会は12月3日(木) 機械振興会館6D-4会議室で開催予定

以上

2026 年度 第 2 回一次電池部会を開催

2026 年 9 月 16 日（水）、野崎部会長（株式会社三菱電機ライフネットワーク）を議長に 2026 年度第 2 回一次電池部会を Web 会議で開催した。開催に際して、「BA」競争法コンプライアンス・ルール」を遵守することを確認したのち、部会長ならびに、専務理事より挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会代表者より、これまでの活動報告を行った。

1. 議事内容

（1）野崎部会長の挨拶

各地で地震、豪雨などの自然災害が多く発生しており、災害時の通信や情報収集の重要性が改めて認識されております。そのような中、乾電池をはじめとする一次電池は、非常時のライフラインを支える重要な製品であり、社会的責任の大きさを再認識しております。本日も活発なご意見をいただきながら、部会活動を進めてまいりたいと思います。

（2）清水専務理事の挨拶

9 月 4 日に北海道で正賛合同会議が開催されました。出席者は正会員、賛助会員で合計 148 名がご出席いただきました。活発な交流が行われるなど有意義な会合であったと思います。

また、2026 年度の活動については、既に半期が経過していることから、10 月には事業計画の進捗確認をさせていただきます。各委員の方は、後半の活動を着実に推進し、計画の積み残しが生じないよう準備を進めていただくようお願いします。

（3）新委員の挨拶

新委員について、紹介と挨拶が行われた。

2. 審議事項

1) 各専門委員会報告

①ボタン電池回収推進委員会

委員長より資料を基に下記の報告があった。

回収実績（4～8 月）については、回収依頼件数が前年度比 91%と減少している。

野村興産イトムカ鉱業所を視察、ボタン電池が適正に処理されていることを確認した。

②器具委員会

委員長より資料を基に下記の報告があり、承

認された。

* 活動状況

・「電池器具安全確保のための表示に関するガイドライン」の改正審議

-新たに追加すべき安全上の重大リスクに関する注意文の追加事項があった。

・委員会活動における視野拡大を目的とした視察研修会の検討

・IEC 60598-2-8(ハンドランプの安全規格)改訂に向けた審議対応

-適用要求の見直しを求めるコメント案を 6/29 に作成・提出した。

③資材委員会

委員長より資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 活動報告

・主要 4 材料（亜鉛・リチウム・ニッケル・コバルト）の需給動向、価格動向の確認

・コンプライアンス（取適法他）に関する意見交換 取適法違反事例 10 件

・JOGMEC との意見交換会の日程、内容確認

④消費者委員会

委員長より資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 活動報告

・支援物資の供給可能数の定期報告について
-前回の部会以降、経済産業省からの支援物資要請はない。

・支援物資供給対応業務マニュアルの周知と改訂検討（10 月 1 日に第 8 版を改訂）

-実態に合わせ、より分かりやすい表現へ見直しを実施

⑤ P L 委員会

委員長より資料を基に下記の報告があり、承認された。

* 活動報告

・2025 年度一次電池重要クレーム情報まとめ
-会員会社 5 社のクレーム情報の集計結果を最終審議し報告書を完成。

・NITE 速報/国民生活センター 事故情報の共有 6 件

・視察研修会の視察先検討

・BAJ の小冊子「We LOVE DENCHI」の見直し

-前回委員会までの修正内容を確認。最終版を事務局に提出完了。

⑥ 技術委員会

委員長より資料を基に下記の報告があり、承認された。

1. 規格委員会活動

1.1 JIS 改正原案作成審議

1)JIS C 8513 の改正原案

8/20 付けで JIS C 8513 改正版が公開され、分科会としての改正活動は完了。

2)JIS C 8515-1, -2 の改正原案作成の活動
IEC 60086-2 の-2-1 (水溶液系)、-2-2 (リチウム系)への分割に伴い、JIS C 8515 を廃止し、C8515-1 および C8515-2 を制定する。8/6 付けで応募書類を JSA に提出済み。

規格番号については JSA と意見交換を行い、C8515 を踏襲することとした。

1.2 IEC TC 35 (一次電池) 関連規格審議

1) IEC 60086-1, IEC 60086-2-1,-2-2 現在進行中のプロジェクトなし。

2) IEC 60086-3 進行中のプロジェクトなし。

3) IEC/TR 60086-7 DTR の最終原稿に対し、編集上の修正を IEC 事務局に依頼済み。

依頼内容が反映済みであることを確認した。

DTR 原稿の再確認依頼待ち。

4) IEC 60086-5 CDV の原稿は 7/23 に提出済みで回付される見込み。

CDV ドラフトにてコメントを検討中。

5) IEC 60086-6 CD へのコメントに対するプロジェクトリーダーの見解を示したコメント集(CC)が配信された。9 月中に CC を反映した CDV が回付される見込み。

6) IEC 62281 7/24 付けで CD が回付され、規格委員会にてコメントを検討中。

1.3 IEC SC21A (コイン形二次電池) 関連規格審議

IEC 61960-4/AMD1 ED2 の取り下げの是非を問う Q 文書が回付され、AMD1 プロジェクトは 8/4 付けでキャンセルとなった。

⑦ 国際環境規制総合委員会

委員長より資料を基に下記の報告があり、承認された。

2026 年度の委員会開催は、9 回開催予定。現在までに 4 回開催。

今回は、本年度のリサイクル施設視察の計画、各地域別環境情報の共有と議論を行った。

⑧ 広報総合委員会

委員長より資料を基に下記の報告があり、承認された。

1. デジタル広告配信

・コイン形リチウム電池 乳幼児の誤飲防止啓発については、子供の長期休暇・帰省時期

(夏・冬休み、春休み) である、8 月 10 日～8 月 31 日、12 月 14 日～1 月 3 日、3 月 15 日～3 月 31 日の期間で配信。デジタル広告はターゲティングを細かく設定できるため、多くのインプレッション(表示回数)とクリックが獲得でき、8 月 10 日から 19 日まででインプレッション 302 万回、クリック数 1.6 万回で投資効率は非常に良い。

・NewsPicks for Kids に、子どもとその保護者を対象とした、電池の正しい使い方や安全

対策を分かりやすく学べる啓発コンテンツの掲載を検討している。

2. イベント活動

・7月29、30日、経産省こどもデーでエネルギー体験教室を実施、また、手作り乾電池教室は8月までに11件実施

3. 事務局報告

1) 委員登録

2026年度 電池工業会一次電池部会 委員登録（2026年7月1日更新）

2) 次回開催日程

2026年12月16日（水）13:30～15:30 オンライン会議

以 上

2026 年 9 月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
議 特 、別 他 会	8日(火)	新種電池研究会	新種電池に関する情報交換他
	11日(金)	広報総合委員会	2026年度 新企画について内容検討
	17日(木)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	蓄電池設備修了考査(大阪府)審議
二 次 電 池 部 会	3日(木)	産電技術サービス分科会	SBA G 0606 蓄電池設備劣化診断の技術指針の見直し
	4日(金)	充電器分科会	SBA G 0901改正審議他
	7日(月)	PL委員会	表示ガイドライン(第7版)改定作業他
	10日(木)	用語分科会	SBA S 0405「二次電池用語」改正審議他
	11日(金)	自動車鉛分科会	IEC60095-8 FDIS 内容確認
	14日(月)	自動車用電池技術サービス分科会	リーフレット(TS-017)内容修正検討他
	15日(火)	資材委員会	共用金型更新検討(26年度分、27年度分)
	15日(火)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域認定新規(切替)取得完了
	17日(木)	据置鉛分科会	JIS C 8704-1 据置鉛蓄電池ーベント式 改正案審議
	17日(木)	据置アルカリ分科会	規格状況の共有化等
	18日(金)	技術委員会	分科会26年度上期活動状況報告、下期活動計画報告
	18日(金)	環境委員会	SDSガイドライン改訂審議、欧州電池規則対応状況共有化
二 次 電 池 第 2 部 会	2日(水)	技術委員会	技術全般に係る審議事項への対応
	9日(水)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	10日(木)	リユース規格分科会	リユース規格に関する審議
	11日(金)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	15日(火)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	16日(水)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 Ed2 CDV審議
	16日(水)	ニッケル亜鉛分科会	IEC規格検討
	17日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	性能規格の改訂審議
	28日(月)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	28日(月)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	30日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	30日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
一 次 電 池 部 会	1日(火)	規格委員会	IEC60086-4,-5,-6,-7、IEC62281審議
	2日(水)	規格委員会	JIS関連審議
	3日(木)	技術委員会	規格委員会からの報告
	16日(水)	一次電池部会	各委員会からの報告および審議

7 月度電池販売実績（経済産業省生産動態統計）

（2026年 7月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

出展：経済産業省 生産動態統計(2013年以降、機械統計は生産動態統計へ名称変更しました)

2011年1月より「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省生産動態統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省生産動態統計より）

2017年9月よりアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

単位：数量、千個、金額、百万円

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	353,683	150,574	97%	117%	2,345,674	1,001,895	102%	113%
一次電池計	258,830	11,300	97%	103%	1,638,376	71,528	103%	107%
酸化銀電池	65,351	2,889	93%	128%	474,001	19,554	106%	134%
アルカリ乾電池計	110,921	4,267	101%	97%	632,498	23,891	103%	98%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウム電池	82,558	4,144	95%	96%	531,877	28,083	100%	101%
二次電池計	94,853	139,274	98%	118%	707,298	930,367	100%	113%
鉛電池計	2,416	19,861	101%	104%	16,772	140,407	101%	104%
自動車用	1,873	13,433	102%	107%	13,058	92,604	102%	107%
その他の鉛蓄電池	543	6,428	100%	97%	3,714	47,803	98%	98%
アルカリ蓄電池計	33,567	23,962	91%	96%	198,486	143,917	85%	90%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
その他のアルカリ蓄電池	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン蓄電池計	58,870	95,451	103%	130%	492,040	646,043	108%	123%
車載用	24,657	72,224	81%	139%	266,774	479,039	95%	118%
その他	34,213	23,227	129%	109%	225,266	167,004	129%	140%

7 月度電池輸出入実績（財務省貿易）

（2026年 7月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

単位: 数量, 千個、金額, 百万円

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
			前年比	前年比			前年比	前年比
全電池合計（輸 出）	184,910	87,601	109%	123%	1,275,823	582,899	104%	123%
一次電池計	127,562	5,390	104%	124%	816,161	34,079	103%	119%
マンガン	0	0	－	－	0	1	－	－
アルカリ	12,141	276	124%	121%	90,641	2,027	125%	118%
酸化銀	63,431	2,765	105%	160%	419,315	16,886	104%	144%
リチウム	51,990	2,347	99%	101%	306,205	15,106	96%	101%
空気亜鉛	0	0	－	－	0	0	－	－
その他の一次	0	3	5%	4%	0	58	9%	53%
二次電池計	57,348	82,210	121%	123%	459,662	548,820	106%	123%
鉛蓄電池	155	1,396	114%	115%	1,097	9,655	119%	115%
ニカド	298	127	299%	193%	1,306	553	133%	99%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	10,132	17,264	99%	108%	63,887	107,459	96%	100%
リチウムイオン	30,641	51,812	127%	116%	299,656	370,574	106%	125%
その他の二次	16,122	11,610	128%	248%	93,716	60,580	114%	183%
全電池合計（輸 入）	142,091	96,656	96%	218%	142,091	96,656	15%	30%
一次電池計	133,035	2,941	96%	100%	133,035	2,941	15%	15%
マンガン	7,320	148	93%	115%	7,320	148	14%	16%
アルカリボタン	933	11	44%	50%	933	11	4%	5%
アルカリその他	103,990	1,737	95%	103%	103,990	1,737	16%	16%
酸化銀	37	5	36%	78%	37	5	3%	7%
リチウム	13,990	913	91%	97%	13,990	913	15%	17%
空気亜鉛	6,764	106	141%	114%	6,764	106	20%	15%
その他の一次	2	20	10%	43%	2	20	7%	2%
二次電池計	9,056	93,715	110%	226%	9,056	93,715	16%	31%
鉛蓄電池	896	5,608	101%	106%	896	5,608	15%	15%
ニカド	17	172	58%	96%	17	172	5%	13%
ニッケル鉄	0	0	－	－	0	0	－	－
ニッケル水素	1,636	493	108%	108%	1,636	493	13%	16%
リチウムイオン	6,463	79,656	114%	247%	6,463	79,656	17%	33%
その他の二次	43	7,786	45%	245%	43	7,786	8%	40%